

エネルギー管理優良事業者等（荷主）表彰推薦調書

(注) 記載内容は前年度までの実績を記入する。

(作成日を記入) 令和6年〇月〇〇日

表彰の種類	業局長表彰		
ふりがな 事業者名	不明の場合は、国税庁のサイトで検索してください。 www.houjin-bangou.uta.go.jp		特定荷主にあつては指定番号
所在地	法人番号(1234567890123) (〒000-0000) 〇〇県〇〇市△△町〇丁目〇〇番△号 TEL 000 (000) 0000		
代表者名	担当課担当者名	所属：製造課 氏名：関東 太郎 電話番号：045(319)1234 E-MAIL:kanto_taro@kanto.co.jp	
事業者 (企業) 概要	資本金	〇〇,〇〇〇 百万円	業種 (日本標準産業分類の中分類)
	従業員数	〇〇〇 名	主要製品等の名称 清涼飲料水
	年間輸送量	〇〇万トンキロ	エネルギー関係者数 〇〇 名
	年間エネルギー使用量 (原油換算)	k l (うち、非化石 k l)	
受賞歴	<p>※エネルギー関係の表彰歴を記載する。</p> <p>記載する期間については、過去10年以内に受賞したものとすること。</p> <p>※表彰歴については、エネルギーの使用合理化に関連する表彰制度であることが分かるよう表彰の目的が記載されたもの(表彰要領等)を別紙にて提出すること。</p>		

特定荷主以外は、記載不要

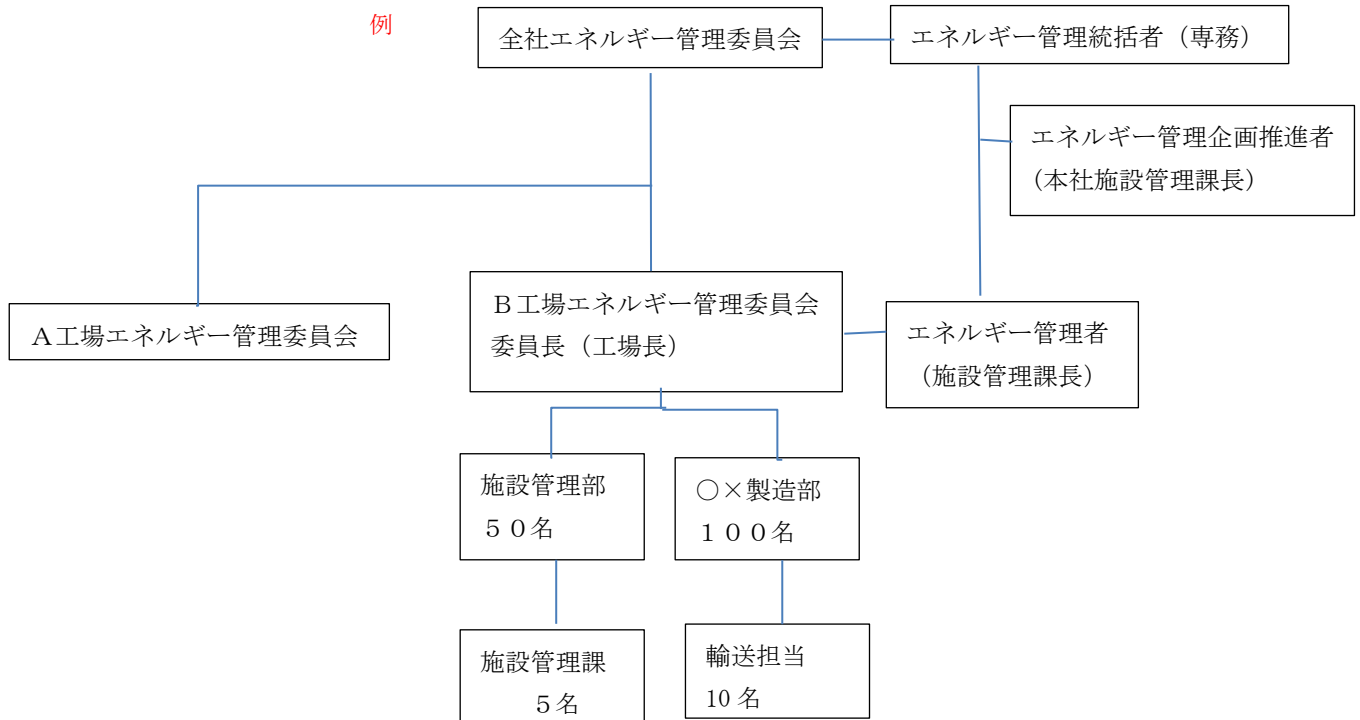
I. エネルギー管理組織とその運営状況

1. エネルギー管理組織図（責任者名（役職）を組織図内に記載すること）

※エネルギーの使用の管理に対する指揮命令系統、計画検討・決定・実施の系統を表示し、職名を記載すること。

※省エネルギー関係部門には、人数も記載すること。

※エネルギー使用の合理化に係る委員会等がある場合には、その体制図を記載すること。



2. 省エネルギー方針、省エネ目標（パフォーマンス指標（原単位など）の設定状況）について記載して下さい。

※省エネルギー方針：（ISO50001、14001、エコアクション、エコステージ等取得企業は、自社で掲げた省エネルギー方針等を記載（環境方針の中に省エネ方針も含まれている場合は、環境方針を記載する）。工場・事業場として省エネルギー方針を定めている場合は工場・事業場としての省エネルギー方針も記載）

例 工場におけるエネルギー使用状況、生産状況等の情報の収集・分析を行い、設備の更新、運用改善等を計画・実施し省エネ目標の達成に努める。

省エネ目標：

工場での省エネ目標は、5年さかのぼった「対前年度比」の平均が改善されていること。

3. 省エネ目標などの実施状況確認体制（内部監査等）と実施状況（文書や記録の管理状況を含む）について記載して下さい。

例 監査員の要件を満たす者により、省エネ目標の達成状況等について1年に1回内部監査を実施。監査結果は監査報告書により、エネルギー管理者に報告されるとともにB工場エネルギー管理委員会に報告している。不適合事項については、エネルギー管理者による改善確認のほか、エネルギー管理委員会への報告が行われている。

4. マネジメントレビューの実施について記載して下さい。

例 内部監査結果はエネルギー管理者に報告されるとともにB工場エネルギー管理委員会に半期毎に報告される。さらに、全社エネルギー管理委員会及びエネルギー管理統括者に報告されマネジメントレビューの結果、省エネ機器への投資計画の見直しなどに反映される。

5. エネルギーの使用状況

(1) エネルギーの使用に係る消費原単位の推移（直近5年度間のデータを記入）

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	5年度間 平均原単位変化
エネルギー消費原単位	(95.92)	(94.96)	(92.97)	(91.11)	(91.11)90	
対前年度比 (%)		99.0	97.9	98.0	100.0	98.7

(注) 2023年度実績以前は改正前の省エネ法に基づく数値を（ ）内に記載し、2023年度のみ改正後の省エネ法に基づく数値を（ ）外に併記する。

II. エネルギーの使用の合理化に関し顕著な成果を挙げた実績

直近5年度間について、主要なものを記載すること。

なお、特に顕著な成果を挙げた事項について、別紙の様式により具体的に記載すること。

年度	項 目	改 善 内 容
	<p>※年度の古い順に記載する。</p> <p>※別紙に記載した事例は該当する項目に「改善例No」を（ ）書きで付す。</p>	<p>※合理化の内容、合理化の成果（改善費用、改善効果（原油換算k l /年）及び投資回収期間）を具体的に記載すること。</p>
2018	<p>荷主間の物流拠点の共同化／共同輸配送による省エネ</p> <p>改善No 1</p>	<p>中継地点で関連会社と荷物入れ替えを実施することにより グループ全体での省エネが実伝出来た。</p> <p>改善費用 ○○千円</p> <p>改善効果 原油換算○○k l /年</p> <p>投資回収期間 ○.○年</p>

Ⅲ. エネルギーの使用の合理化に関して実施した措置状況

1. 共通項目 (調査項目ごとに調査欄から該当事項を1つ選んで○印をつけること)

細 目	調 査 項 目	調 査 欄			
(1) 取組方針の作成とその効果等の把握	①取組方針の策定	・実施中	・今後実施	・検討中	・実施せず
	②エネルギー使用実態等により正確な把握	・実施中	・今後実施	・検討中	・実施せず
	③エネルギー使用の実態等の把握方法の定期的確認	・実施中	・今後実施	・検討中	・実施せず
	④責任者の設置	・実施中	・今後実施	・検討中	・実施せず
	⑤社内研修体制の整備	・実施中	・今後実施	・検討中	・実施せず
(2) 輸送効率向上のための措置	①輸送効率を考慮した商品の開発又は荷姿の設計	・実施中	・今後実施	・検討中	・実施せず
	②貨物の輸送距離の短縮	・実施中	・今後実施	・検討中	・実施せず
	③燃費の向上	・実施中	・今後実施	・検討中	・実施せず
	④計画的な貨物の輸送	・実施中	・今後実施	・検討中	・実施せず
(3) 準荷主との連携	準荷主と調整し、取引単位の大規模化等による貨物の輸送頻度、納品回数削減及びリードタイムの見直し	・実施中	・今後実施	・検討中	・実施せず

2. 主に企業向けの大口貨物の配送 有・無

(「有」の場合、調査項目ごとに調査欄から該当事項を1つ選んで○印をつけること)

細 目	調 査 項 目	調 査 欄			
(4) 積載率の向上	①積み合わせ輸送を実施することを促す発注	・実施中	・今後実施	・検討中	・実施せず
	②輸送量に応じた適正車種を選択することを促す発注	・実施中	・今後実施	・検討中	・実施せず
	③できるだけ時間的猶予を確保した発注	・実施中	・今後実施	・検討中	・実施せず
(5) 自営転換の推進	自家用貨物自動車から輸送効率のよい事業用貨物事業者への輸送の転換	・実施中	・今後実施	・検討中	・実施せず
(6) モーダルシフト	鉄道及び船舶の活用の推進	・実施中	・今後実施	・検討中	・実施せず

3. 主に消費者向けの小口貨物の配送 有・無

(「有」の場合、調査項目ごとに調査欄から該当事項を1つ選んで○印をつけること)

細目	調査項目	調査欄			
(7) 配送効率向上	①日時や受取場所の指定	・実施中	・今後実施	・検討中	・実施せず
	②日時や受取場所の通知・変更への対応	・実施中	・今後実施	・検討中	・実施せず
	③同梱やまとめ送りの促進	・実施中	・今後実施	・検討中	・実施せず
	④再配達削減のための取組	・実施中	・今後実施	・検討中	・実施せず
	⑤消費者への啓発の取組	・実施中	・今後実施	・検討中	・実施せず

IV. その他

1. 法令違反、公害及び事故の発生状況

(1) 法令違反の有無

イ. 有 ロ. 無

法令違反年月日	法令違反の概要

※省エネ法に関する法令違反については過去5年間、省エネ法以外の法令については過去3年間の内容を記載すること。

(2) 公害等の発生状況

イ. 有 ロ. 無

公害等発生の年月	公害等の概要

※事業者等の責任により、過去3年以内に公害問題等で自治体等に条例等に基づく報告書等を提出したもの又は改善命令等を受けたものについて記載すること。

(3) 事故等の発生状況

イ. 有 ロ. 無

事故等発生年月日	事 故 等 の 概 要

※事業者等の過失により、過去3年以内に死亡者の発生等又は被害の範囲が被表彰候補者（法人、事業所等）の範囲内でおさまらないなど、社会的影響が大きい事故や災害が発生したものについて記載すること。

2. その他、エネルギーの使用の合理化に係る活動状況

※直近5年度間について、社外（業界団体等）に対するエネルギー管理技術等の啓発・普及、指導等の取組事例を記載すること。

※記載する件数は問わないが、最大5件を評価対象とする。

例

- ・〇年〇月、〇〇電力協会主催による省エネルギー実践セミナーにおいて自社改善事例を発表した。
- ・×年×月、〇〇センター主催による省エネ優秀事例全国大会において当事業所の省エネ事例を発表した。

推薦者の評価を記入してください（特徴、新規性など）

--

別紙

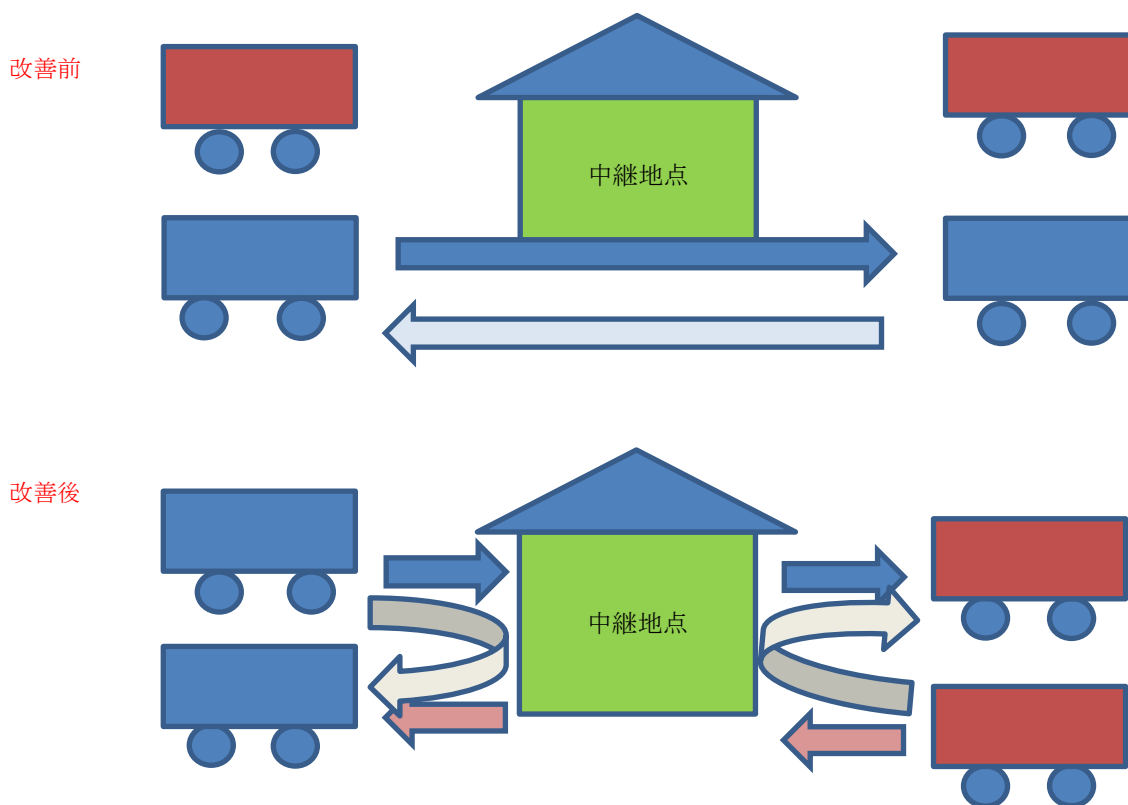
特に顕著な成果を挙げた具体的改善内容（2項目）

（簡単な図、写真等を含めて前後の比較をわかりやすく記入すること。）

改善例 (No. 1)

1. 改善項目 荷主間の物流拠点の共同化／共同輸配送による省エネ

2. 生産工程図



3. 改善の理由

※取組に至る経緯・背景等も記載すること。

荷を下ろした帰路において、荷が少ないことがあった。

関連会社でも同様であったため、グループ企業内で荷の量、配送日程などを共有することで輸送の合理化になると考えた。

4. 改善の内容

※改善の内容は図示するなど、取組内容や特色、苦労した点・創意工夫した点を含め具体的に記載すること。

従来は、帰路は荷が無い場合もあったが、中継地点においてグループ企業間での荷物 の積み替えを行うことにより輸送の合理化を行った。

5. 改善の効果

※使用電力量及びエネルギー原単位の軽減など改善効果をできる限り数値で記入すること。

企業単体では、エネルギー使用量は増えたものの、グループ全体では、エネルギー使用量は減り原単位の改善になった。

2021年度後半より本件を実施し、下表のとおり原単位が改善された。

	単 位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
エネルギー原単位	トン／k m	3, 500	3, 500	3, 510	3, 150	3, 100
対前年度比			1.00	1.003	0.89	0.98

6. 改善の評価

改善に要した投資額 [千円] (A)	改善による効果 [千円／年] (B)	償 却 期 間 [年] 但し、金利は含まず (A／B)
〇〇〇千円	〇〇〇 千円／年	2年

※旧設備の老朽化で高効率設備への取替費用は、高効率設備への増額分を費用計算として算出する。